

令和6年度 順天堂大学国際教養学部 出張講義テーマ一覧

講義 No	領域	講座名	講座内容	講師名
A01	グローバルヘルスサービス領域	グローバルヘルスの視点からの感染症	開発途上国を中心とした様々な健康問題や感染性疾患、特にエイズ、結核とマラリアという三大感染症に関する理解を深める授業です。	ニヨンサバ・フランソワ
A02	グローバルヘルスサービス領域	現代の国際社会に求められるヘルスリテラシー	世界保健機関（WHO）は、不健康な食事や運動不足、喫煙などの原因が共通しており、生活習慣の改善により予防可能な疾患をまとめて「非感染性疾患（NCD）」と位置付けています。心血管疾患、がん、糖尿病、慢性呼吸器疾患などが含まれ、特に死亡割合が高いのは、「心血管疾患」です。心血管疾患の原因である動脈硬化の疫学とメカニズムに焦点を当てた授業を行います。	加藤 洋一
A03	グローバルヘルスサービス領域	理想の体型と健康—社会が生み出す痩せへの圧力	日本の女性は先進国の中で最も痩せている、ということはお存じでしょうか？その背景には「痩せたい気持ちを通り過ぎてしまっている社会」があると考えられていて、男性も無関係ではありません。世界を見渡しても、そのような国はほとんどなく、国際的にも極めてまれです。その一方で、痩せによる健康障害についてもまだまだ十分知られていません。本講義では、この問題を生徒と共に考えます（参照：マイウエルボディ協議会HP）。	田村 好史
A04	グローバルヘルスサービス領域	グローバル社会と国際保健医療	なぜ戦後の日本はかくも急速に健康状況を改善できたのでしょうか？ 健康社会を築いた戦後日本の秘密を解き明かします。そして今日なお、お母さんと子どもたちの健康状況の改善が強く求められている南米ボリビアへ、日本の健康向上の秘訣を伝授するプロジェクトの実践をご紹介します。	湯浅 資之
A05	グローバルヘルスサービス領域	医療の場での異文化コミュニケーション	医療の場での異文化コミュニケーションに関して、医療通訳の立場や、諸外国の慣習などから多面的に考えます。	大野 直子
A06	グローバルヘルスサービス領域	熱帯地域に暮らす人びとの健康問題	熱帯地域、とりわけ貧困層の人々の健康を脅かす三大感染症及び「顧みられない熱帯病」の制圧に向けて、個人、国や企業、NGO/NPO、学術研究機関、国際社会全体がどのような役割を果たしているか、一緒に考えてみよう。	白山 芳久
A07	グローバルヘルスサービス領域	『健康』とは何か？～Well-beingとの繋がり～	健康とは人々にどのように解釈されているのでしょうか。WHOが提唱する健康の定義のみならず、より身近な視点から一緒に考えていきます。グローバルな取り組みでもあるヘルスプロモーションの概念とwell-beingとの関連についてもお話します。	鈴木 美奈子
B01	グローバル社会領域	国連による平和と安全の維持	国連に関する基礎知識を含め、どのようにして戦争や紛争を防げばよいのか、起きてしまった紛争にどう対処すればよいのか、平和や安全の維持に関する国連の制度はどのようなになっているのか、生徒たちとともに考えます。	玉村 健志
B02	グローバル社会領域	経済のグローバル化との関わり方を考える	膨大な規模のヒト・モノ・カネ・情報がグローバルに移動することで、多くの人びとがより豊かな生活を過ごせるようになりました。しかし、経済のグローバル化は、様々な問題を世界全体に広げる要因ともなっています。この講義では、一見すると無関係に思える経済のグローバルな活動とその課題について、私たちの生活と結びつけながら、皆さんと考えていきます。	佐々木 優
B03	グローバル社会領域	グローバリゼーションと日本社会における多文化共生	グローバリゼーションに伴う変化の一つとして、国境を越えて移動する人々の増加とともに多様な文化背景を持つ人々と協働する機会が増えることが挙げられます。日本社会の現状と課題について理解し、今後どのような社会を目指していくべきかについて考えます。	太田 有子
C01	異文化コミュニケーション領域	異文化コミュニケーションとしての翻訳	異なる言語を用い、かつ異なる文化に属する人たちの間のコミュニケーションを可能にする翻訳という行為について、翻訳学（Translation Studies）の考え方をもとに説明します。そして、私たちの身の回りには翻訳がたくさんあることを確かめ、異文化コミュニケーションとして、どのような訳し方が可能かを一緒に考えます。英語から日本語への翻訳にも挑戦してもらいます。	齊藤 美野
C02	異文化コミュニケーション領域	ノンバーバル・コミュニケーションへの誘い—しぐさと視線が放つメッセージ—	私たちのコミュニケーションにおいて、意味の解釈・理解がなされる時、非言語メッセージは言語メッセージ以上に重要な役割を持つと言われています。この講座では、非言語メッセージの特徴、ジェスチャー、顔の表情の読み方、視線の機能について、体感型のエクササイズを交えながら学びます。	原 和也
C03	異文化コミュニケーション領域	「異文化」はどこにある？	「異文化」との出会いというとき、日本では異なる「国」出身者との接触や英語でのやり取りを意味していることが少なくありません。ですが、「異文化」との出会いとは、「国」や「英語」に限らず、日々生じていると考えることもできます。この講義では、わたしたちの生きる「日常」にいかに関「異文化間コミュニケーション」が息づいているのか、コミュニケーション研究の知見を踏まえて考えていきます。	岡部 大祐

令和6年度 順天堂大学国際教養学部 出張講義テーマ一覧

講義 No	領域	講座名	講座内容	講師名
C04	異文化コミュニケーション領域／外国語（英語）	異文化コミュニケーションにおける言語の役割	共通語としての英語、言語と文化の関係性、異文化適応・最適応について講義をし、国際教養学部で英語を通してリベラルアーツやグローバル課題を学ぶ意義について、ワークを通して体験していただきます。	今井 純子
D01	基礎科目（歴史）	幕末期の欧米列強のアジア戦略ー「鎖国」日本を中心として	「ドイツ第二帝政史ービスマルク失脚を中心にして」「日蘭交渉史」「幕末期のオランダ対日外交政策」「アメリカ合衆国ベリー司令官遠征の真意」「1858年日米修好通商条約の裏側ータウンゼント・ハリスの日本での活動」	小暮 実徳
E01	キャリア教育	働くことの意味と実際	コンビニエンスストアのおにぎりは、誰のどんな労働によって皆さんの手元にまで届くのだろうか？大学の講義で実際に行われるようなアクティブラーニングを通して、「会社」とはどんなところか、「働く」とはどういうことなのかを共に考えます。	平林 正樹
E02	キャリア教育	自分を活かすキャリアデザイン	グローバル化や知識社会が進んだことで、人々の“キャリア”がどう変わってきたのでしょうか。変わらないことは何でしょうか。自分を活かしてキャリアを築くために大切なことについて、いくつかの問いかけに皆さんに答えてもらいながら、考えていきます。	道谷 里英
E03	キャリア教育	グローバル・ビジネスリーダーについて考える	所属する企業の業種や規模を問わず、世界中で多くの日本人ビジネスパーソンが、事業の先頭に立つリーダーとして活躍しています。そういった人材をひたくりにしてしまうのには無理がありますが、大きく見るとどのような要件がグローバルに活躍するビジネスリーダーに求められるのでしょうか。キャリア開発と人材育成の観点から考えていきます。	四方 昌利
F01	外国語（英語）	なぜ英語？（ごくありふれた理由以外に） Why English (in addition to the usual reasons)?	今日世界中にいる英語話者とはどのような人か？なぜ英語が歴史的にグローバルな言語になったのか？英語は（よく知られている価値以外に）日本人にとってどのように役立ちそして価値があるのか？順天堂大学では英語はどのような教えられ使われているのか。このようなことについて話したいと思います。これらの質問に対する驚くような答えが聞けると思います。 <i>Who are today's English speakers around the world? Why historically did English become the global language? In what ways is English useful or valuable for Japanese (in addition to the obvious ones)? How is English taught and used at Juntendo? Some of the answers may surprise you.</i>	ワーデン ポール
F02	外国語（英語）	グローバル英語教育	日本の英語教育はどこが足りないのか、そうして、どうするべきなのかについて考えます。	マルセル・ヴァン アメルズフォート
F03	外国語（英語）	Summary Writing in English	英語で書かれた文章や、英語で語られたトークや講義を要約するとき、色々なパターンがありますが、本講義では、英語を使う上でも重要となる「客観的な視点」を軸に、英文（もしくは英語によるトーク）を英語で要約を書く体験をします。この体験を通じて、理解した内容を整理して自分の言葉で語るとは、どのようなことなのかを考えます。	野村 佑子
F04	外国語（英語）	国際教養学部 1 年次の必修英語授業	本学国際教養学部 1 年次の必修英語授業（English for Liberal Arts）についてご紹介し、通常授業の一部もご体験いただく予定です。	藤井 里美
F05	外国語（スペイン語）	スペインの文化と言語	スペイン語は、スペインやラテンアメリカ地域などで使用されており、スペイン語話者は約 6 億人といわれています。スペイン語圏やスペイン語の特徴を紹介し、その魅力をお伝えします。	小橋 さおり
F06	外国語（中国語）	中国語を始めたい人に知って欲しいこと	中国語は漢字以外にも日本語と意外に多くの共通点があり、日本人には学びやすい言語だと考えています。この講座では、そもそも中国語とはどんな言語なのか、その特徴を概観してから、実際に中国語の発音を体験し、中国語についての知識を深めてほしいと思います。予備知識を付けてから中国語を始めれば入門で躓くことはないはず。	藤本 健一
F07	外国語（フランス語）	なぜフランス語を学ぶか	DeepLなどの翻訳AIツールが発展する21世紀の今、暗記力をはじめ、膨大な認知的投資が必要となる外国語はなぜ若い世代に学習すべきか。第2外国語の特徴や勉強するメリットを考察して、フランス語を学ぶことによって何の「考える力」を修得できることかわかりやすく説明して証明する。	逸見ヴィアート・クロエ

令和6年度 順天堂大学国際教養学部 出張講義テーマ一覧

講義 No	領域	講座名	講座内容	講師名
G01	教職課程／外国語（英語）	効果的な英語の指導	英語の4技能を効果的に統合した授業を行うことで、学習効果を高める指導方法について実演を交えながらお話しいたします。	小野田 榮
G02	教職課程	文教政策から見る子どもの将来	教育振興基本計画、中央教育審議会答申、学習指導要領など近年の文教政策の動向から、子どもの将来の姿を考えてみます。	石田美清
G03	教職課程	やる気になる心理学	学習行動は、能力があっても、学習環境が整っていても、本人にやる気がなければ持続せず、効果も期待できません。やる気を高めるのに役立つ方法を心理学の研究を通して学んでいただきます。	吉武 尚美
G04	教職課程	自分で自分を助ける方法	生きていくうえでストレスはつきものです。コーピングやマインドフルネスなど、心理学におけるストレス対処の方法を体験してみましょう。	吉武 尚美
G05	教職課程	21世紀の知識基盤社会で求められる能力（21世紀型スキル）	21世紀は、新しい知識・情報・技術があらゆる社会領域における活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、「知識基盤社会」の時代と言われています。この講義では、21世紀の知識基盤社会で求められる能力（21世紀型スキル）について、教育学の視点から考えます。	白川 正樹